

福寿草

新俳句人連盟
石川県支部

発行
野村芳泉

NO 78

2012年

3月1日

交流誌頂いた
支部

孟宗置賜
(山形)
神奈川支部
どんぐり会報
俳句人大分とよ
俳句人とやま
長野支部報

俳句人愛媛
支部報

花信(兵庫支
部)

「べらんめえ」
東京23区支



石川県支部の皆さんへ

「推敲に時間をかけましょう」

ようやくこれまで寒さがゆるんできました。光の様子が違います。

この頃になると、飯田竜太の次の句「いきいきと三月生る雲の奥」が思い出されず。酒田では、白鳥の北帰行もはじまっています。

石川県もさぞ雪の深い、冷気きびしい冬だつたことでしょう。

そんななかで、すっかり日常をみつめた健気な作品群に心がうごかされます。正面を向いて生き抜いている姿が尊くおもわれます。

一句が最初に出来たとき、そこからが勝負です。

時間をかけて、推敲を重ね、作品の完成度を上げて下さい。私は、投句の後でさえ「あそこはこうすれば良かった」と反省させられることたびたびです。

余寒のなか、健康に充分気をつけられ句作に励まれますように。

頭から湯気出て終る雪下ろし

二〇一二年三月一日

工藤博司



鎮魂 千羽鶴の絆
一枚の紙で1040羽の連鶴

石川県白山市八ッ矢 中村 博さんの作品です。

3、11東日本大震災一周年を迎えます。自分は何が出来るか？鎮魂の気持ちを込めて、1040羽、520羽の連鶴を一枚の和紙で挑戦、実現しました。3月5日～4月6日まで北陸銀行松任支店で『折り紙作品展』開催中。

「鎮魂 千羽鶴の絆」作者に出会えて

三月に入り、春の兆しが見えてきましたが「三寒四温」が繰り返されています。3、11東日本大震災一周年を迎えまだまだ多くの被災者が寒い避難生活に耐え、待ち遠しい春をまっています。又合わせて原発の犠牲になられた多くの人々が「原発なくせ」の声も高まり、「安全神話」のべるがはがされようとしています。このような時期に「鎮魂 千羽鶴の絆」の作者中村博さんと出会い、一枚の和紙で「千羽の連鶴」に感動しました。この感動を一人でも多くの人に伝えたいと思い「NHKビデオ便り」の撮影にご協力を頂き実現しました。ご協力に感謝します。

鎮魂の千羽連鶴和紙一枚 小関昌司

3月句会は、17日(土)午後1時30分
白山市千代女の里俳句館です。
投句は、15日まで、宜しくお願いします。

二〇一二年二月紙上句会

工藤博司選

温泉の素など入れて初湯かな	美苗
大寒波それより恐い原発会議	芳泉
激論のひれ酒一杯冬終わる	建次
金沢やライトアップの冬木立	関
恵方巻酢飯の湯気を手で払い	淳
衣擦れの音を急がせ寒修行	香月
ぬくぬくと猫のためか湯たんぽは	めぐみ
ふじと言う一期一会の椿の名	紅泉
ちぎり絵の肩寄せ合って雖便り	光意
石段を登り一服初詣	嘉次
大増税財布の中は大寒波	もり
薦掛けの雪の歩道に独り足	十三子
寒の川湯気上げているところかな	南中
四方は白一輪赤き寒椿	幸清